

1.企業名:adjoe

●ウェブサイト: <https://adjoe.io/ja/>



アプリのマネタイズ・エンゲージメント増をゲームコンテンツを活用して実現するソリューション「Playtime」をご紹介します

adjoe GmbH は、アプリのマネタイズとエンゲージメント強化を同時に実現するソリューション「Playtime」を提供しています。「Playtime」は、アプリ内にシームレスに組み込まれ、ユーザーは厳選された人気のアプリゲームカタログから興味のあるタイトルを選択し、プレイに応じて報酬を獲得できる仕組みです。adjoe は、世界中の 1,000 を超えるゲームと提携し、年間 6 億人のモバイルユーザーをエンゲージするまでに急速に成長しました。アプリパブリッシャー様で、マネタイズ・ユーザーエンゲージメントに課題をお持ちの方は、ぜひ個別にご相談ください！

★Speaker: Daisuke Hattori ・ 服部 大輔

2.企業名:Cellcolab

●ウェブサイト: <https://cellcolab.com>



人材、イノベーション、製品を結びつけるプラットフォームを提供しライフサイエンス関連企業のヨーロッパ、中東及びアフリカ進出を支援

Cellcolab は、人、イノベーション、製品を結びつけ、インパクトと成功を生み出すためのライフサイエンスエコシステムを構築しています。当社は、ライフサイエンスインキュベーター、設備の整ったラボ、そしてカスタマイズされたサービスに対し、エンドツーエンドのプログラムマネジメントを提供するとともに、エコシステムの関係者をつなぎ、共通の成功を推進します。

★Speaker: Gregor Kindelmann

3.企業名:MAULCO.

●ウェブサイト: <https://maulco.osaka>

戦略的ビジネスコンサルティング手法と自社開発で実績のある AI を駆使し、欧州進出の一連のプロセスをワンストップでサポート

異なる国や文化への事業展開には、大きなチャンスと同時にリスクも伴います。私たちは欧州進出の一連のプロセスをワンストップでサポートし、不確実性を取り除いて、確信を持って前進できるよう導きます。私たちの独自のアプローチは、戦略的ビジネスコンサルティング、リーダーシップ心理学、そして実践的なチームダイナミクスを組み合わせ、人間中心の原則に基づきながら、自社開発で実績のある AI 手法で支援します。信頼できるコンサルタント、リーダーシップコーチ、法務・税務アドバイザーのネットワークを通じて、ブランド確立、販路開拓、効果的なコミュニケーション、リーダー人材の採用、人脈構築、そして欧州での戦略的な事業成長を実現します。

★Speaker: Mathias Maul

4.企業名:UrbView

●ウェブサイト: <https://urbview.com/>



既存の都市環境と将来の開発計画を分析するディープテック空間インテリジェンスプラットフォーム

UrbView は、既存の都市環境と将来の開発計画を分析するディープテック空間インテリジェンスプラットフォームであり、CPTED（犯罪機会削減のための環境設計）の原則に基づいた安全性を重視しています。当社の AI は、都市画像、空間レイアウト、テキストデータ、犯罪統計などを分析し、不十分な照明、死角、視界の遮断、視認性の悪さといったリスク要因を検出します。これらのリスク要因を明確な安全スコアと具体的な設計推奨事項に変換することで、高額な建設工事に着手する前に、安全対策を講じることが可能になります。UrbView は、都市計画担当者、建築家、不動産開発業者、警察、自治体に対し、エビデンスに基づいた予防的な設計インテリジェンスを提供し、すべての人にとって安全で歩きやすく、アクセスしやすい都市を積極的に創造することを支援します。

★Speaker: Elnaz Nouri

5.企業名:WAIV FTIR

●ウェブサイト: <https://waiv-ftir.com>



次世代赤外分光計が、広範囲の赤外線領域にわたる光のスペクトル全体を捉え、品質管理、化学物質の同定、先端材料研究におけるリアルタイム分析を可能に！

WAIV FTIR GmbH は、研究室レベルの精度を産業および研究環境にもたらす次世代赤外分光計を開発・製造しています。当社の主力製品であるコンパクトな AURA は、非常に広い赤外線領域にわたる光のスペクトル全体を捉え、品質管理、化学物質の同定、先端材料研究におけるリアルタイム分析を可能にします。ハンブルクに拠点を置き、DESY 研究機関から生まれた WAIV FTIR は、最先端のフォトニクス技術とインテリジェントなソフトウェアを組み合わせることで、高性能分光分析をより身近で自動化され、拡張性の高いものにし、持続可能なデータ駆動型社会の実現に貢献します。

★Speaker: Erik Jung